

日本の食品、シンガポールの政財界でも大人気！ ～天皇誕生日レセプションで地域の特産品を紹介～

シンガポール事務所

在シンガポール日本国大使館が主催した天皇誕生日レセプションにおいて、地域の特産品等の紹介が行われました。多くのゲストに喜ばれ、地域の魅力を知っていただく機会となりました。

1. 全国から集まった地域の特産品

今回のレセプションに際して、地方自治体関係の提供した品目は、牛肉・魚・果物・お酒などでした。どの品目についても非常に好評で、各コーナーにゲストの方が列を作り、提供開始後短時間で準備してきたものの多くが品切れとなる状況となりました。

日本の食品は高品質でおいしい、というイメージは定着しており、特に刺身や和牛など日本食の定番として広く認知されているものは、説明をしなくても長蛇の列という人気でした。日本の果物についても、甘くておいしいというイメージが定着していることから、いちごやメロンなどはすぐになくなっていました。



果物も大人気

一方、きんかんなどシンガポールでまだ馴染みのない品目や調理の仕方で一見して何かわからないものについては、手に取るのをためらう様子も見られました。こうした食品に関しては、品物の説明や食べ方を一言添える必要がありましたが、食べてみられた方からは、いずれもおいしいとの感想をお伺いすることができました。現地の方に馴染みのないものについては、通常の物産展等においても試食等で味を知ってもらうことから始めていく必要があると感じました。

今回の提供品の中には果物も多く、ベジタリアンの方にも喜んでもらえた様子であったことから、特に日本の食品の「安心・安全」なイメージを定着させながら、潜在的なニーズを掘り起こしていくことも必要と思われます。

また、商品について興味を持たれた方から、シンガポールのどこでその商品を購入できるのか尋ねられる場面もあり、商品について興味を持ってもらえた際に、購入できる場所をすぐにお伝えできることが重要だと感じました。大使館のアドバイスで、名刺サイズのカードに購入可能場所を事前に記載して配布用に使用しましたが、こちらにも役に立ちました。



多数紹介された日本酒



日本食の定番となっている刺身

2. 継続的な PR の必要性

シンガポールは輸入に関する制限等がないことや、東南アジアの他国に向けたショーウィンドーとしての期待から、自治体のプロモーションが大変積極的に実施されています。今回のレセプションは、通常の商談会や物産展のように、直接売上があるというイベントではありませんが、政府関係者や流通関係者など多くの参加者に、各地域の特産品を知っていただく機会となりました。これを一つのきっかけとして、日本各地域の特産品への興味が更に高まり、シンガポールでの販売促進につながっていくことが期待されます。今後もこうしたレセプション等の場も積極的に活用しながら、シンガポール市場に向けた継続的な PR が必要と考えられます。

3. 終わりに

今回、当事務所では、自治体関係からの出品にあたっての説明対応等に係る支援を行いました。今後も引き続き、シンガポールを中心とした東南アジア各国における自治体の物産販売促進等の活動を支援してまいります。

【参考：天皇誕生日レセプション開催概要】

開催日時	2012 年 12 月 11 日 (火) 19:20~21:20
開催場所	フラトンホテル シンガポール ボールルーム
参加者	Lim Hng Kiang 通商産業大臣をはじめシンガポール政府要人、各国外交団、報道関係者等 700 名以上
提供品目	(岩手県) 米、いわて牛、日本酒 (茨城県) 日本酒 (静岡県) みかん、メロン (岐阜県) 柿 (和歌山県) 梅酒、リキュール (長野県) ワイン (熊本県) いちご、トマト、シマアジ (鹿児島県) きんかん、デコボン、さつまいも、ブリ
実施内容	大使あいさつ、大臣あいさつ、両国歌斉唱 等

(吉本所長補佐 鹿児島県派遣)